

金沢市ごみ処理基本計画（案）について
市民会議等での意見及び本市の考え方

資料 2

1. 意見を基に追加・修正を行ったもの

No.	意見の概要	本市の考え方
第2回廃棄物総合対策審議会		
1	ごみの内訳については、重量だけでなく、容積を示した方が、市民目線でわかりやすいのではないかと。	本文中のごみ量の表記は、国や県の表現と合わせるため、引き続き重量での記載とします。 なお、コラム（本編p67）でごみ減量の目安を記載しました。
2	食品ロス対策の中に、フードドライブ加えてフードバンクも追加してはどうか。	施策①の取り組み内容に「フードバンク事業への支援」（本編p70）を追加しました。
3	バイオプラスチックの施策を載せているが、容器包装プラスチックの減量化や脱プラスチックが主になるかと思うので、そのような言葉を入れてはどうか。	容器包装プラスチックの減量化や脱プラスチックの推進には、市民だけではなく事業者との協力も不可欠となるため、施策②の「環境にやさしい買い物の普及促進」（本編p70）の中で取り組むこととします。
4	事業系ごみの施策に具体性がない。 古紙の資源化については、組合等の組織を通じた働きかけが効果的だと思う。 生ごみについては、5年間でできることは少ないかと思うが、次につながる資源化方法や施設整備等を検討することを記載して欲しい。	事業系ごみの施策として、計画概要案で記載していた施策のほか、施策⑥の「内容物調査等による排出事業者への指導の強化」や施策⑦の「大規模事業所等への立入指導の強化」（本編p72）などの取り組みを追加します。 また、これらの施策によるごみの減量化等を見込んだ施設整備方針の策定を行うこととし、その中で具体的なごみ処理の方法等を検討します。
パブリックコメント		
1	概要案の「1. 計画策定の目的」、「2. 計画の位置づけ」、図-1にSDGsの目標12. 「持続可能な生産消費形態を」（つくる責任・つかう責任）に対応することを記載して欲しい。	SDGsについては、本計画の目的と関連性があることから、「第1章 1. 計画策定の目的」（本編p1）の項目で記載しました。
2	概要案の表-1について、埋立ごみと資源回収の分類別収集量とその回収・処分に掛かる費用を記載して欲しい。 （特に、環境負荷の大きい水銀含有製品と容器包装プラスチックについて）	第3章 表3.4-1（本編p19）にて種類別ごみ排出量の実績を記載しました。 また、同章 表3.10-1（本編p43）にてごみ処理に係る経費の実績を記載しました。
3	概要案の図-2～4について、グラフ縦軸に（t）や（%）の単位が脱落している。	ご指摘のとおり、「第4章 図4.1-1～3」（本編p50）を修正しました。
4	「金沢市人口ビジョン」による人口減少予測を織り込んだ数値目標に設定し、そのことを明記して欲しい。 また、5期計画と同様に「金沢市の概況」で人口について触れる場合、「金沢市人口ビジョン」による予測値を示して欲しい。	将来ごみ量の予測（本編p60）にて「金沢市人口ビジョン」を基にした人口推計を記載しました。

2. その他意見と本市の考え方

No.	意見の概要	本市の考え方
第2回廃棄物総合対策審議会		
1	<p>雑がみ回収促進袋は、小松市のようなA4紙が横置きで入るようなサイズが良いと思う。 また、市民だけでなく、事業者にも配布しては。</p>	<p>雑がみ回収促進袋は、指定ごみ袋収集制度に伴う古紙の分別方法の周知のために作成したものです。新たに作成する予定はなく、今後は、各家庭にある紙袋等の利用を周知します。</p>
2	<p>イベントごみの対策を行うことを載せてはどうか。</p>	<p>それぞれの事業実施の中で、分別の徹底や適正処理の啓発を行うこととします。</p>
3	<p>事業用の生ごみ処理機の助成とあるが、生ごみの堆肥化は市内に処理を行う施設がないと難しいのではないかと。</p>	<p>生ごみ処理機については、堆肥化だけでなく、消滅型や乾燥型など様々な種類がありますので、ご指摘の点も踏まえて検討します。</p>
4	<p>事業系の古紙回収には、排出者や古紙回収者、行政のそれぞれにインセンティブが必要ではないかと。 個々の企業に指導するのは大変なので、組合や団体等に働きかける施策を考える必要がある。</p>	<p>工業団地や地域等で古紙をまとめて収集する取り組みを考えており、今後各団体等への働きかけを進めます。</p>
5	<p>ごみの分別について、若者世帯があまり気を付けずに、ごみを捨てている。 若者世代を中心に、普及啓発を行ってほしい。</p>	<p>「金沢学生ごみ問題検討会議」からの提言を踏まえ、引き続き、多様な広報媒体を活用した分別方法の周知徹底に取り組みます。</p>
6	<p>食品ロスの問題は企業が商品を安くするため大量生産していることが原因と思われるので、対策を実施してはどうか。</p>	<p>来年度、食品ロス削減推進計画を策定することとしており、その中で具体策を検討します。</p>
7	<p>災害廃棄物処理計画を見直す施策になっているが、昨今の災害被害を踏まえた見直しをしてほしい。</p>	<p>長野市で発生した災害の支援に本市の職員を派遣しており、そこでの経験を踏まえた見直しを行います。</p>
8	<p>事業者との協働は重要である。 市の役割としては、排出事業者や収集業者、処理業者と意見交換できるような機会を設けることが重要だと考える。</p>	<p>事業系ごみの減量化施策を実施していく中で、積極的に意見交換の場を設けていきたいと考えています。</p>
9	<p>事業者に対して、SDGsに絡んだ、環境ISOを取得するように働きかけてはどうか。</p>	<p>事業者への指導や普及啓発の中で、研究して行きます。</p>
10	<p>家庭ごみの指定ごみ袋収集制度開始の効果は薄れていくことが考えられるため、それを考慮した施策を行うこととして記載してはどうか。</p>	<p>課題の整理（本編p66）で、減量効果の維持について記載しました。</p>
11	<p>ごみの減量化は温暖化対策になることを記載しても良いのでは。</p>	<p>計画の位置づけ（本編p1）の中で記載しました。</p>

パブリックコメント

1	<p>概要案の図-2について、実績値では家庭系と事業系のに分けているが、目標は一括しているのはおかしいのではないか。</p> <p>実際に、本概要案の目標値では事業系ごみの排出量の目標値が設定されている。</p>	<p>第5期計画は、家庭系ごみ、事業系ごみを合わせた数値を目標として掲げていたことから、一括した数値で目標値を記載していますが、実績値については、詳細が分かりやすいように家庭系と事業系に分けて記載しています。</p>
2	<p>概要案の図-4の中で「サーマルリサイクル」と「マテリアルリサイクル」割合を示して欲しい。</p>	<p>本市の資源化率はすべてマテリアルリサイクルされた資源回収量を基にした数値です。</p>
3	<p>概要案の図-5、図-6の燃やすごみ組成調査の結果から、家庭系はプラスチックと再生可能紙類、生ごみを合わせると71.3%、事業系燃やすごみでは、再生可能な紙類と生ごみで62.2%であり、それぞれ7割と6割の削減ポテンシャルがある。</p> <p>これに対してごみ排出量の目標数値が低いのではないか。</p>	<p>再生可能な紙類については、効率的なリサイクルルートの確立を図ることにより、大幅な減量化・資源化を見込むことができますが、生ごみなどについては、現状、資源化施設が少なく、資源化のルートを確認するには今しばらくの時間を要すると考えており、その点を考慮した目標値としています。</p>
4	<p>環境負荷が大きい容器包装プラスチックと水銀含有製品について、個々に実績と数値目標、取り組む施策を示して欲しい。</p>	<p>表3.4-1（本編p19）に種類別ごみ排出量の実績を記載しますが、個別の数値目標の設定は考えていません。代替製品や環境負荷の少ない製品の普及を推進していきたい。</p>
5	<p>食料自給率の低い日本で、まだ食べられる食品が大量に捨てられているのはもったいない。</p> <p>食品ロスを減らす取り組みを行ってほしい。</p>	<p>来年度、食品ロス削減推進計画を策定することとしており、その中で具体策を検討します。</p>
6	<p>プラスチック容器について、「不要という意見」と「必要という意見」があり、事業者単独では解決に限界があるため、市と事業者が連携して、市民に働きかける活動が重要でないか。</p> <p>これについて新たな「環境にやさしい買い物」について、公民連携の動きはあるのか。</p>	<p>現在、環境にやさしい買い物推進店などの事業者と協働で、エコバックの普及などの「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施しています。今後も国のプラスチック資源循環戦略などを踏まえ、取り組みを推進します。</p>
7	<p>民間事業者が古紙やペットボトルなどリサイクル対象の資源を回収しており、かなりの回収量が予想される。</p> <p>これらの民間回収量を把握するため、公民連携の廃棄物量の把握も必要ではないか。</p>	<p>ごみの排出や資源回収量は、国が定めた基準で集計し、ごみ処理基本計画に反映することとされているため、民間が独自のルートで回収した資源の排出量は市への報告義務がなく把握が難しいことをご理解ください。</p> <p>しかしながら、民間での回収も含めた社会全体での資源回収の取り組みは重要と考えており、今後も市民・事業者の協力を得ながら、排出抑制や資源化の推進に努めます。</p>
8	<p>現在、民間の回収量はどれくらいか把握できているのか。</p>	

9	使用済みのクレジットカードなど、ごみの分別で判断に迷うものがある。 分別例をもっと詳しくしてほしい。	これまでも、「ごみ分別辞典」の冊子やスマートフォンアプリの「5374App」、市民と協働で作成した「金沢もったいないじい〜典」、ホームページなどで、ごみの分別方法や資源のリサイクルについて、周知を行っています。引き続き、様々な媒体を活用し、市民に分かりやすい広報に努めます。
10	分別された資源ごみが、どのようにリサイクルされているのかわからないので、具体的にどのようなものにもリサイクルされるか示して欲しい。	
市民会議		
1	事業所から出る古紙が多い。 プライバシーの問題があるので、シュレッダー紙も資源化できるようになれば良いと思う。	近年、機密文書を溶解処理する方法や、再生可能なシュレッダー専用車両などの方法も出てきていることから、機密文書を含めた古紙回収を行う事業者を紹介し、古紙の資源化を働きかけていきます。
2	事業系ごみの減量化に力を入れる計画とのだが、なぜ減っていないのか原因はわかっているのか。 また、搬入規制を実施することのだが、本当にそれだけで目標が達成できるのか。 規制だけでなく、事業者へのペナルティを設けてはどうか。	事業系ごみは、ここ数年好調な経済活動が持続しているため、ほぼ横ばいの量で推移しています。 事業系ごみの減量化・資源化は重要な課題であり、引き続き立入指導等や講習会の開催などを通して減量化意識を醸成し、搬入規制などを実施していきますが、事業者へのペナルティは考えていません。
3	ニュースなどでコンビニやスーパーの期限切れ食品の廃棄が取り上げられている。 金沢市として、どのような取り組みを考えているのか。	来年度、食品ロス削減推進計画を策定することとしており、その中で具体策を検討します。
4	事業系ごみはどのように排出されているのか。	事業系ごみは、廃棄物処理法により、事業者の責任に基づき収集運搬許可業者と契約して適切な施設へ排出することとなっています。
5	家庭ごみの指定ごみ袋収集制度により、家庭ごみは大きく減った。 同じようなことをすれば、事業系ごみも減るのでは。	ご指摘の方法の場合、お金を払えば分別しなくても良いとの意識が働く可能性があるため、普及啓発や指導による減量化の取り組みを進めます。
6	当初、指定ごみ袋による収入は4億円とのことであったが、1年目は予定通りだったのか。 具体的にはいくらになったのか。	指定ごみ袋の取扱店舗が当初の見込みより増加したため、平成30年度では約6億1000万円の収入となっています。
7	地域コミュニティ活性化委基金の使途の予定はどうなっているのか。	要援護者サポート事業やステーション器材助成などの地域コミュニティの醸成にかかわる施策に使用されることとなっています。
8	資源化率に計算しているのはどのようなごみなのか。	あきかんやペットボトル、古紙等の集められた後、直接又は中間処理してリサイクル業者へ引き渡されたものです。
9	事業系の燃やすごみに食べ残しなどが多く含まれていることについて、事業者と話し合いをしているのか。	今年度、飲食店やホテル等を対象にアンケート調査を実施した結果、業態によって食品廃棄物の種類が異なる事が判明しました。 今後は業態に応じた研修会を開催する等、実態把握に努めてまいります。

10	<p>サーマルリサイクルをしても、CO2が発生してしまうので、温暖化対策にはならない。 資源循環は重要なことなので、もっと周知して欲しい。</p>	<p>引き続きマテリアルリサイクルの重要性について、周知啓発に取り組みます。</p>
11	<p>若い世代から、意識を変えて町会を挙げてごみの減量化、資源化に取り組むべき。</p>	<p>若い世代への意識啓発は重要なことなので、今後施策で啓発方法を検討します。</p>
12	<p>平成25年度からごみ量が減少したとのことだが、人口が減ったからではないか。</p>	<p>平成25年度と平成30年度の比較では、金沢市の人口は増加しています。 ごみ量の減少は、家庭ごみの指定ごみ袋収集制度をはじめとした、ごみ減量化・資源化施策により、市民の分別意識が向上したものと考えています。</p>
13	<p>野々市市との境界近くでは、越境ごみが問題になっている。 どう対応するのか、向こうの市には連絡しているのか。</p>	<p>ごみステーションに越境ごみが捨てられていることが確認できた場合は、該当の自治体の廃棄物担当課へ連絡し、指導を依頼しています。 それでも越境ごみが減らない場合は、市の職員によるごみステーションの立番も実施しています。</p>
14	<p>高齢者世帯ではスーパーに古紙を捨てに行くのも大変である。 定期的資源回収の際に回収できるようにしてほしい。</p>	<p>現在、地域のごみステーションを利用した古紙集団回収が拡がってきており、引き続き、身近なごみステーションでの回収やスーパーのご協力をいただいた店頭回収など、各地域の状況や生活スタイルに合わせた取り組みを推進していきます。</p>
15	<p>雪が降った際に、マンションなどのしっかりしたごみステーションは問題ないが、カラス除けネットしかないごみステーションでは雪に埋もれるなど、高齢者が管理するのは大変なので対策はないのか。 対策事例があれば情報共有して欲しい。</p>	<p>ごみ出しをはじめとする高齢化にかかわる課題については、地域全体で取り組む必要があると考えています。 また、ごみを格納するステーション器材費等への補助制度もありますので、ご相談ください。</p>